

## 6月20日は国際日系デー 制定から4度目の記念日を迎えて 横浜とペルーを繋ぎオンライン・トークショーを開催



6月18日の「海外移住の日」および6月20日の「国際日系デー」を記念して、当協会では6月19日(日)10時(日本時間)より、オンライン・トークショー「ニッケイ人ってなに?日系新世代に聞く」をライブ配信した。

昨年の「国際日系デー」において、当協会がパンアメリカン日系人協会との共催で行った「国際日系デー」ロゴマーク・コンクールで見事作品が採用されたペルー日系4世の伊藤晃満さんが、リマの自宅からオンラインで出演したほか、「国際日系デー」の提唱者である沖縄在住の比嘉アンドレスさん(アル

ゼンチン日系2世)と伊佐正アンドレスさん(ペルー日系3世)のお二人と、横浜市鶴見区で生まれ育ったブラジル日系3世の安富祖樹里さんが、横浜のライブ会場より出演した。

松本アルベルトさん(アルゼンチン日系2世)を聞き手に繰り広げられた約1時間半のトークショーでは、優勝作品に込めた想いを伊藤さんに伺ったほか、比嘉さん、伊佐さんには「国際日系デー」を提唱したきっかけ、日本で生まれ育った安富祖さんには、自身のニッケイ・アイデンティティについてなど、それぞれにお話を伺った。

国際日系デーを記念した海外各地の動きとしては、キューバで6月26日に国際日系デーにちなんだ日本文化イベントを対面実施したほか、ブラジルではブラジル日本文化福祉協会がイピラプエラ公園の日本館において約3年ぶりの対面イベントを企画。ハワイでは、ハワイ日系人連合協会が国際日系デーの祝福コメントと共に、この1年間の活動の様子を紹介する動画を公開したほか、ボリビアでも、日本文化紹介イベント「日本散策」を7月に対面で実施予定とのこと。

withコロナへと少しずつ社会がシフトし始めた2022年の国際日系デーは、今後、各地の日系団体等で徐々にコロナ前のような活動が再開され、日系社会全体が活気を取り戻していくことへの期待を感じさせるものとなった。

※次頁にトークショー詳細。

### 国際日系デーとは…

1908年に第1回ブラジル移民船笠戸丸がサントス港に到着した日にちなみ、日本では総理府(現内閣府)が6月18日を「海外移住の日」と定めている。ブラジルでも6月18日を「日本移民の日」として関連行事や記念ミサ・法要が行われているほか、各国の日系社会それぞれに「移民の日」がある。

一方で、日系人にとって国を越えた共通の記念日はなかったことから、世界共通の記念日を設けることで、日系人としてのルーツに思いを馳せ、受け継いできた日系レガシーを継承し国際社会に貢献していこうと制定されたのが、「国際日系デー」だ。

2017年にパンアメリカン日系人大会(ペルー・リマ開催)で「国際日系デー」の制定が提案され、翌2018年6月に、世界各国の日系人が集まる「第59回海外日系人大会」(ハワイ開催)において、日本からの最初の移民集団がハワイに上陸した6月20日を記念日として制定することが宣言された。

日本で安心して  
過ごす為に!

短期滞在・在住者向け保険  
VIVA MED-S-VIVA MED-30  
(Life and Health coverage)

- 短期滞在には医療保障最大100%のVIVA MED-S
- 在住には医療保障30%のVIVA MED-30がそれぞれオススメです。



少額短期保険会社  
(株)ビバビダメディカルライフ  
VIVAVIDA MEDICAL LIFE CO., LTD  
関東財務局長(少額短期保険)第51号

Health and Life Insurance for foreigners in Japan  
短期滞在・日本在住・企業就労の外国人向け医療・生命保険

オススメ

外国人社員・スタッフ向け保険  
VIVAライト-VIVAカード

- 年間保険料12,000円(1ヶ月あたり1,000円)からと手頃な価格で用意。
- 外国人スタッフの福利厚生の一環としてオススメです。

その他保険プラン

- 外国人留学生向け保険
- 外国人技能実習生・特定技能1号向け保険
- LCI家財総合保険
- LCI日本人向け生命保険
- LCI入院費用保険

For more information, call:

TOLL FREE: 0120-656-684

TEL: 046-265-6685

Visit [www.vivavida.net](http://www.vivavida.net)



# 特集 オンライン・トークショー

## 「ニッケイ人ってなに？ 日系新世代に聞く」

### 出演



**伊藤 晃満**  
(ペルー日系4世)  
グラフィックデザイナー  
2020年、当協会とパン・アメリカン日系人協会が主催した「国際日系デー」ロゴコンテストにおいて、最優秀賞を受賞。漫画研究プロジェクト Startcomixなどを通して、ラテンアメリカの漫画家を育てる夢を持っている。



**比嘉 アンドロス**  
(アルゼンチン日系2世)  
ウチナーネットワークコンシェルジュ勤務  
伊佐正アンドロスさんと共に世界ウチナーンチュ学生サミットを企画、「世界のウチナーンチュの日(10月30日)」、「国際日系デー(6月20日)」の制定を提案した。現在は、JICA沖縄を拠点にしたウチナーネットワークコンシェルジュで国際交流活動を行っている。



**伊佐 正 アンドロス**  
(ペルー日系3世)  
名桜大学勤務  
比嘉アンドロスさんと共に世界ウチナーンチュ学生サミットを企画、「世界のウチナーンチュの日(10月30日)」、「国際日系デー(6月20日)」の制定を提案した。現在は、名桜大学国際交流センター国際交流課職員。ラテンダンスのワークショップやパフォーマンス等もやっている。



**安富祖 樹里**  
(ブラジル日系2世)  
神奈川県立高校日本語指導員、NPO 法人ABCジャパン・ユースワーカー  
日本生まれ日本育ち。祖父母は沖縄からブラジルに移住し、両親は入管法改正後に来日した。日本とブラジル・コミュニティが混在する横浜 市鶴見区で育つ。現在は、日本と外国につながるある中高生を支援する活動を行っている。



**間き手 松本アルベルト**  
(アルゼンチン日系2世)  
アイデア・ネットワーク代表  
大学卒業後1990年に国費留学生として来日。東京および横浜地方裁判所の法務通訳。獨協大学法学部で「ラテンアメリカ経済&社会と法」講師。在日日系コミュニティ誌「Mercado Latino」や「Latin-a」、全米日系博物館ディスカバー・ニッケイのコラムニスト。JICA横浜で中南米日系社会研修員の講師を務める。2018年、JICA理事長より「JICA国際協力感謝賞」を受賞。

### 国際日系デーの制定とロゴマーク

**松本:**「国際日系デー」は、まだ制定されてからそんなに時間が経っていないのですが、実は国際日系デーの前に、今日ここにお越しいただいた比嘉アンドロスさんと伊佐正アンドロスさんが「世界ウチナーンチュの日」というのを提案して、沖縄県知事にも承認されている。そのことについてまずはちょっとお話いただければと思います。

**伊佐:**はい。2016年に開催された第6回世界ウチナーンチュ大会の閉会式で、当時の翁長県知事と、比嘉アンドロスと一緒に宣言文を読み上げて、10月30日を「世界のウチナーンチュの日」として宣言したんです。

沖縄や海外に住んでいるウチナーンチュ、沖縄が好きな方も含めて、みんなで沖縄の文化を継承しつつ、自分たちのアイデンティティを正確に知って、ウチナーンチュであることを誇りに思っ、ウチナーンチュ同士が連携することで国際社会にも貢献したい、そういう思いがありました。

**比嘉:**沖縄で生活している間に気付いたことですが、沖縄のカレンダーには、島をあげて祝う日というのがなかったんですね。もちろん、沖縄の歴史の中でポイントとなる日はいくつかあって、例えば5月15日「日本復帰の日」や、6月23日「慰霊の日」ですね。しかし、どちらも戦争と関係している悲しい日です。それで、世界に渡ったウチナーンチュたちと一緒に何かできないかな、記念日が喜ばしい日になればいいな、と思ったんです。自分のアイデンティティ、歴史や文化をみんなが祝う日があればいいなと。

**松本:**僕も2017年にリマで開



国際日系デーの制定についてプレゼンテーションを行う比嘉さんと伊佐さん



2017年のCOPANI(リマ大会)で、国際日系デーを制定することが承認された



2019年6月、沖縄で比嘉さんと伊佐さんが主催した国際日系デー制定記念のイベント

催されたパンアメリカン日系人大会(COPANI)に参加しましたけれど、そこでお二人が国際日系デーの制定を提案した。そのときはどんな事を感じましたか？

**伊佐:**ウチナーンチュの日が制定されてから1年後に、国際日系デーという自分たちのアイデアがさらに大きい規模でCOPANIで賛同いただいた。その時は日付までは決まらなかったんですけど、とっても嬉しかったです。みなさんの協力があってのことでしたので。

**松本:**昨年は、国際日系デーのロゴマークを決めるコンクールを実施して、これが優勝したロゴです。

ペルーのリマと現在オンラインでつながっていますけれど、伊藤晃満さん、どういふ思いでこのデザインを考えられたのでしょうか？

**伊藤:**このコンクールは、長年僕の中で曖昧だった、日系人とは何なのか？という疑問について、自分なりの答えを導き出すいい機会になりました。

「日系人」と一言で言っても、単純かつ複雑な言葉だなと思っていました。定義としては単純で、日本から海外へ移民した人たちの子孫という風に認識される方も多いと思います。ところが、これがアイデンティティとなると、個々ですごく違いが出てくる。自分を日系人だと思わない人もいますし、ここ最近移住してきた日本人の子どもは日系人ではないのかな？とか。ずっと疑問に思っていたんです。

そこで、ロゴを作るときには、何か統一性があればいいなと思って導き出したのが「歴史を共有している」ということ。僕ら日系人は、アイデンティティは人それぞれかもしれないけれど、ルーツはみんな同じです。みんなが共通して感じられるものがあれば、と考えました。



June 20

INTERNATIONAL DAY OF NIKKEI

## それぞれのニッケイ・アイデンティティ

**松本:**本当に素晴らしいロゴです。僕は2018年の日本人ハワイ移住150周年記念式典にホノルルまで行ったんですけど、この時、日系7世、8世という人たちのトークショーがあったんですよ。「7世?8世?いったいどういう人たちで、どんなことを感じているんだろう?」と思いました。印象に残ったのは、何世代経っても、日本語ができなくて、日本と関わりがないような生活を送っていたとしても、何かあった時には何となく蘇るものがあるんだと。それを、ハワイの人たちは「日系レガシー」と呼んでいました。

安富樹里さんは、90年代に日系人労働者が日本に来ることになって、その結果日本で生まれ育った世代ですが、ご自身を日系人と意識されているのか、もしくは、どのようにこの「日系」というものを消化されているのか聞かせてください。



**安富:**「日系」という言葉知らない人には「日本人なの?」とか「ブラジル人なの?」とかよく聞かれます。日本人って言われると、そうでもありちょっと違うなという気持ち

もあるし、ブラジル人と言っても、ずっと日本にいるし、でもブラジルの部分もある。そうすると、色々混ざっているものを受け入れようみたいな気持ちとして「日系」という言葉がしっくりくる気がしています。

**松本:**晃満さんは、ペルーで生まれて2歳の時に日本に来て、ご両親の都合で5歳の時にペルーに戻っているんですよね?そして、ペルーのAELUという日系組織のラ・ウニオン学校で勉強して、立派な日本語力を維持しているわけですけども、そこで学んだ日本語と自分のアイデンティティについては、どういう風に見ているんでしょうか?

**伊藤:**個人的には、言語そのものは、日系人であるか否かに直接関係ないと思っています。でも、日本語を維持してきたおかげで、より深く日本との関係を保ち続けられたという風には感じています。

**松本:**樹里さんは、上智大学のポルトガル語学科で勉強されたんですね。ご両親は日常生活でポルトガル語を使っていたと思えずし、家庭内の言語はミックスしていたと思うんですけど、なぜポルトガル語学科を選んだのでしょうか?

**安富:**私は日本で生まれ育ちましたが、家の中にはポルトガル語があるので聞けばわかります。でも、ポルトガル語はめっちゃめっちゃ活用が多く、聞いているからといって話せるようにはならなくて。

しかも、ブラジル人からも日本人からも、「どうしてポルトガル語を話せないの?」って聞かれるので、「悔しいな!」と(笑)。

あと、日本にいると、ブラジルの良さをあまり感じる事ができなかったんですね。自分がブラジル人なのに、その国のことを良いと思えないのがすごく寂しくて。これはもう、勉強するしかないな!と思いました。

**松本:**大学時代に約1年間、ブラジルに留学されたと聞いていますが、何を学び、どういうことに気づきましたか?



**安富:**日本にいて「ブラジルはいい国だよ」なんてどれだけ言われても、「本当かな?」って思っていたんです。でも、実体験として、例えば私が少しでも道に迷っているそばりをしていたら、必ず誰かしら「どこに行きたいの?」って聞いてくれる。そういうのは日本ではあんまりないことだと思いました。

親せきも近くにいたので、月に1~2回はおじいちゃん、おばあちゃんに会いに行きました。ブラジルにいる日系人の生活を身近に感じて、自分の中の家族の歴史というのをすごく感じました。

**松本:**リマにいる晃満さんにもお伺いします。コロナ禍ではなかなかできなかったと思いますが、リマのAELU祭りなんていうと、ものすごく大きなイベントですよね?最近ではアニメや漫画、さまざまな要素によって、日系人ではない人たち、地元の非日系の人たちがたくさん集まるという。晃満さんからそういうイベントを見ると、どうですか?

**伊藤:**もう本当に、日本の魅力がすごいなと感じていますね。最近では、周りのペルー人の友達も、自然に日本語で冗談を言い合うようになったりしているんです。おそらく日本のアニメとかドラマとかで覚えた言葉を使っているんですけど、やはり皆さん日本に対して、魅力が豊富な国だと感じていて。



ペルーでは毎年11月にAELU主催のお祭りがあるんですけど、日系人だけじゃなくてみんなが一緒にお酒を飲んだりお店を回ったり、打ち上げ花火を見て祝ったり。たくさんの方が日本の文化に惹かれているのを見て、自分がその一部を持っているというのを、ものすごく光栄に思います。

## 国際日系デーのこれから

**松本:**国際日系デーというものを、どのように認識してもらおうというのが今後、重要な課題になってくると思います。

コロナ禍であったとはいえ、少しずつ各国の若い世代たちが「国際日系デーをお祝いしたい」「オンラインであっても互いに認識し合おう」という風になってきている。アンドレスさんと正さんは、ブラジルから招待されて、オンラインでイベントに参加しましたよね?どこから呼びかけがあったんですか?

**伊佐:**パラナ州のロンドリーナ市議会から招待を受けました。市議会の中で国際日系デーのイベントをやって、そこにオンラインで参加してほしいと。日本時間で、夜中の3時でしたけれど(笑)。でも、こんな機会はあまりないので、がんばって二人で国際日系デーについて説明しました。



実はブラジルでは、サンパウロ市、リオ・グランデ・ド・スール州、ロンドリーナ市の3つの都市で国際日系デーを条例として定めることが議会レベルで決まっています。

**比嘉:**この逆バージョンとして、日系人が多い例えば神奈川県とか、名古屋、群馬とかで、条例で国際日系デーを定めて、海外から来た日系人たちと交流するきっかけ作りができないことはないと思うんですね。

**安富:**行政レベルだけではなく、個人的に関わっていくというのであれば、SNSで国際日系デーのハッシュタグをつけてみんなで共有していくとか、そういうことも楽しいなと考えていました。

**松本:**各自、国際日系デーを今後どういう風にアピールしていくか、簡単なキーワードでどうでしょう?

**比嘉:**日系の歴史、移民の歴史が日本の教科書にもっとあればいいと思いますね。

**伊佐:**国際日系デーの前後で、今日のようなイベントを開催したり、個人レベルではSNSを通じてPRしていければと思います。



**安富:**私と知り合わなければ日系人というものを全然知らなかったという人がすごく周りに多いので、日本人にも知ってもらいたいイベントというのも楽しそうだなと思っています。

**伊藤:**ロゴが僕にとって日系というもののひとつの答えだったように、それぞれの日系の在り方やアイデンティティを分かち合うような場所があるということを大々的に宣伝していけば、もっといろんな方が興味を持って参加されるのではないかと思います。

**松本:**ありがとうございます。晃満さんが考案した、このロゴはずっと続くと思います。本当に素敵なデザインですので、今後の活動にも活用していきたいです。

## Q&A | 参加した方々から寄せられた、たくさんの質問にお答えいただきました。

**Q** 伊藤晃満さんにロゴについて質問です。鶴の羽が蛇腹のようになっていますが、何か意味がありますか？

**伊藤:**鶴の翼が開いていくとどんどんページが増えていく本を表しています。鶴の長寿にもかけて、この先も日系社会が未永く繁栄していくことを願ってこの形にしました。

**Q** 樹里さんは外国につながる子どもたちの支援をされていますが、一番大変なことは何ですか？

**安富祖:**日本にいる外国につながる子どもたちは、来た理由もさまざまですし、ちょっと話せる子とすぐ話せる子、ひらがなから勉強しなくてはならないレベルの子がひとつのクラスに集まっています。レベルの凸凹を見ながらみんなにちょうどいいことができるようにするのは結構大変だなと思っています。

**Q** 安富祖さん、伊佐さん、比嘉さんに質問です。私のハワイの友人たちの中には、自分はウチナンチュでありジャパニーズではないという人もいますし、ウチナンチュでもありジャパニーズでもある、という人もいます。みなさんそれぞれのアイデンティティの形成過程を教えてください。

**比嘉:**アイデンティティというのは、環境とか経験とかで変わっていくんですね。私の場合はいま、3つのアイデンティティを持っています。アルゼンチン人、日系人、そして沖縄人としてのアイデンティティと誇りです。もしかしたら何かのきっかけで、来年からはラテン系のアイデンティティと誇りを持つかもしれない。それはいろんな状況で変わっていくんですね。

**伊佐:**私の場合は、ナショナル・アイデンティティでいうとペルー人。ペルーの中の日系社会のなかで生活していたので、ペルーの日系人という意識がありました。沖縄に来ることになって、沖縄のルーツに触れて、親せきとも会って、沖縄民族について学んでいくと、ウチナンチュとしてのアイデンティティも湧いてきて、もう一つアイデンティティとして加わった。アンドレスさんが言ったように、外部環境や経験でアイデンティティが形成されていくと思います。

**安富祖:**年齢と共に、「日本人かな?」とか「ブラジル人じゃない!」とったり、「やっぱりブラジル人だ」と思ったり。でもいまは、分けられない位に混ざったもの、という位の気持ちでいますね。私が住んでいる鶴見区は沖縄コミュニティが強く、沖縄民謡が聞こえてきたり、親せきが沖縄空手をやっていたり、そういう環境で育ったので、自然とすべての色が混ざっていく感じがします。

**Q** 安富祖さんへ質問です。私も日本語が母国語の日系ブラジル人です。今日のお話を聞いて、私もがんばろうと思いました。今後、両言語をマスターされてどのような活動をしたいですか？

**安富祖:**ポルトガル語を仕事で活かそうというよりも、自分の気持ちを落ち着かせたいという気持ちで学んでいたの、通訳とかでポルトガル語を使う予定はないんですね。

いろんな価値観を持ったところで育っていて、受け入れる力というのは人よりもずば抜けていると思うので、それはこれから先どこでも使える力として生活していきたいなと思っています。

**Q** みなさん全員への質問です。みなさんのさらに次の世代の若い日系人たちに何かアドバイスをするとしたら、どんなことを伝えたいですか？

**比嘉:**たまに、アイデンティティなしで人は生きていけるのかな?と考える時がありますが、実は、生きていけるんですよ。アイデンティティを何も気にしなくても生きていくことはできる。でも、人間力というのかな、100%発揮することはできないんですね。やっぱり自分のアイデンティティ、自分を誇れるものがある人生のほうが、人のためにも社会のためにも、国のためにもなると思います。

**伊藤:**世代が重なっていくごとに混血も増えていく中で、日本とのつながりを感じにくくなっていくと思うんですが、これから先の日系人は、日系人であることの意味を強調していけたらなって考えています。

同じルーツを持っていて、何世代たってもその歴史は変わらない。同じような過去があるからこそ、こうやって繋がっている。ご先祖様たちが作り上げて来た繋がりやコミュニティを後世に伝えていくことが、現代の日系人のやらなければならない使命だと考えているので、その意思が受け継がれていければいいな、と思います。

**伊佐:**樹里さんにも経験があると思いますけれど、日系人であることの悩みとか、私たちも海外で生まれ育った日系人としてそれぞれの悩みがあります。伝えたいのは、日系人であることを誇りに思ってもらいたい。生まれ育った国と日本、二つの文化と価値観を持っているのが日系人なので、それをこれからの人生に活用してほしいなと思います。

**安富祖:**自分が何人なのかな、という混乱を否定的に思ってしまったりとか、普段なかなか「私日系人で悩んでるんです」なんて人に言わないし、言う相手もないと思うんですね。だからこそ余計に自分のなかでグルグルしちゃうっていうのを自分の経験として知っているし、いろんな子どもたちを見ていて思います。でも、親世代も同じ悩みを一回は持ったことがあるし、案外、似たような人が近くにいれば、その話は共通の話題として話せるんですよ。もし何か自分で嫌だなとか不安だなと思うことがあったら、いろんな人に「ちょっとこんな風に思ってるんだ」って言うといいし、その感情は全然悪いことではなくて、誰もが通る道だから安心してねって伝えたいです。



**Q** 最後にみなさんから一言ずつお願いします

**安富祖:**こんな機会を提供していただいて本当にありがとうございます。アイデンティティとか、日系にもいろいろあるけれど元は一緒だねとか、そういう感覚をなかなか普段改めて思い起こすことってなかったけれど、こうやって皆さんと一緒に共有できて嬉しく思いました。

**伊佐:**日系人といってもいろんな感じ方、バックグラウンドを持っています。国際日系デーは、毎年いろんなイベントで祝う日にして、こうした話し合いや、これからどういう風に繋がっていくかを考えていく日にできたらいいと思います。

**比嘉:**国際日系デーが、自分の人生の強み、メリットを探したり見つけたりするための、ひとつのきっかけになったらいいと思いますね。

**伊藤:**今日ほど日系人であることを誇りに思えた日はないという位、すごく嬉しいです。この先も、それぞれ自分のルーツを大切に、いろいろと語っていけるようなイベントがあればいいなと思っています。

**松本:**今後も我々が、中南米やほかの国々とのネットワークの中で協力して、それが少しでもプラスになれば、日本としても日系人をもっと評価・活用してくれるのだろうと思っています。参加してくれたみなさん、どうもありがとうございました。



## Maioridade no Japão 日本の成人年齢

相談センター 山形エレナ

(公財)海外日系人協会 日系人相談センター

■相談受付 月曜日～金曜日(土・日曜、祝祭日を除く)

14:00～17:30

■対応言語 ポルトガル語、スペイン語、日本語

■電話番号 045-211-1788

**Q** Sou yonsei e tenho 24 anos, vivi no Japão do meus 5 aos 11 anos e devido a facilidade do idioma dos meus pais, fui matriculada em uma escola brasileira, sem nenhum contato com o idioma japonês. Voltamos ao nosso país, mas o meu sonho sempre foi retornar Japão. Agora, já adulta e através do visto de yonsei, retornarei em breve para poder conhecer mais sobre esta maravilhosa cultura que sempre me encantou, e agradeço também todas as informações que me repassaram.

Hoje a consulta se refere ao meu irmão caçula que completará 17 anos no final deste ano, e que também tem o sonho de conhecer, estudar e trabalhar no Japão. Me informaram que a maioridade no Japão é de 20 anos, sendo assim, se ele for ao Japão acompanhado do nosso pai que é sansei até antes de completar 20 anos poderá ir como dependente? Neste caso ele poderá estudar e trabalhar? Se não for possível meu pai acompanhá-lo, ele só poderá ir ao Japão com o visto específico de yonsei? e o meu receptor poderá também ser o mesmo do meu irmão?

**A** É bom saber que o andamento do processo do seu visto de yonsei esteja tudo sobre controle e que seu sonho de vir ao Japão já esteja prestes a se concretizar, e espero que consiga aproveitar tudo de bom que este visto possa oferecer.

Quanto a consulta sobre o seu irmão, sim ele só pode entrar no Japão como dependente e somente na companhia de seu pai podendo estudar, mas não poderá trabalhar, visto que esta categoria não o permitiria, porém poderá fazer arubaito de no máximo 28 hs semanais se for solicitada a autorização na Imigração, e sim se o seu pai não puder acompanhá-lo, ele só poderá vir com o visto de yonsei após completar 18 anos e o receptor poderá ser o mesmo, lembrando que o receptor (pessoa física) só poderá ter aos seus cuidados 2 pessoas.

Quanto a maioridade a que se refere, 20 anos, após 140 anos foi reduzida para 18 anos passando a vigorar a partir de 1 de abril de 2022. Portanto, para que seu irmão possa vir como dependente ele terá que vir ao Japão antes de completar 18 anos. Esta alteração afeta também os sanseis, pois após a lei entrar em vigor, os sanseis de 18 e 19 anos deixam de ser considerados menores e dependentes e ao requisitar o visto de estadia deverão requerer como qualquer outro adulto, incluindo a apresentação de contrato de trabalho ou intenção de contratação entre outras documentações ao requerer o seu visto.

O que muda com a alteração da maioridade no Japão? Com a revisão na lei alguns itens foram alterados e outros não, a seguir algumas das mudanças.

**O que será alterado:** Idade em que poderão fazer contratos sem a autorização dos pais (requerimento de cartão de crédito, compra de carros a prestação, alugar uma moradia, etc); idade para naturalização; mudança de nome e gênero de pessoas trans; a idade para obter a qualificação nacional (contabilista certificado, escrivão administrativo, etc) passa a ser 18 em vez de 20 anos. Também, a idade mínima para que as mulheres possam se casar passar aumenta de 16 para 18 anos, com a mudança, ambos os sexos passarão a ter a mesma idade mínima de 18 anos de se casarem sem a autorização dos pais.

**O que não será alterado:** ingestão de bebidas alcoólicas; cigarro; jogos como corridas de cavalo e outros jogos de aposta, estes itens foram mantidos sem alteração para a proteção dos jovens tanto nos efeitos da saúde, como da

proteção e prevenção da delinquência juvenil; idade para adoção de uma criança; obtenção para a licença de veículos de grande ou médio porte.

Página on line das Relações Públicas do Governo Japonês  
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201808/2.html>  
Cartilha do Ministério da Justiça do Japão  
<https://www.moj.go.jp/content/001300586.pdf>

**相談** 私は現在24歳の日系ブラジル4世です。5歳から11歳まで日本に住んでいましたが、ブラジル人学校に通っていたので日本語に触れるチャンスはありませんでした。11歳の時にブラジルに帰国しましたが、私の夢はずっと、いつか日本に帰ることでした。大人になり、私をずっと魅了しているこの素晴らしい文化についてもっと知るために、四世ビザを取得して近々日本に戻る予定です。

今日は、今年末に17歳になる私の弟についての相談です。弟もまた、日本で勉強し、日本で働くという夢を持っています。日本の成人年齢は20歳と聞きましたが、日系3世である父と一緒に弟が日本に行く場合、20歳になるまでは父の扶養家族として行くことができるのでしょうか?その場合、弟は日本で勉強や仕事ができるのでしょうか?また、父の同行者として日本に行くことが不可能な場合は、四世ビザで日本に行くしかないのでしょうか?その場合は、受入サポーターは私と弟とで同じ人でもよいのでしょうか?

**回答** 四世ビザの取得が順調に進み、日本に戻って来ると貴女の夢が実現しそうで何よりです。

弟さんについては、仰る通りで、現在は扶養家族として父親と一緒に日本に入国できません。その場合、日本で勉強はできますが、就労はできません。ただし、入管に申請して許可を得られた場合は、週28時間まで働くことが可能になります。

父親が同行できない場合は、18歳になってから四世ビザで来日すれば、受入サポーターは貴女と同じ方で問題ありません。

お尋ねの日本の成人年齢についてですが、この度140年ぶりに民法が改正され、2022年4月1日より、これまでの20歳から18歳に引き下げられました。したがって、弟さんが父親の被扶養者となるためには、18歳の誕生日までに来日する必要があります。

今回の法改正は3世にも影響を与えています。改正法の施行後は、18歳、19歳が「未成年者及び扶養家族」とみなされなくなり、成人としてビザ申請時に雇用契約書や内定通知書などの書類を提出しなければならなくなりました。

日本の成人年齢が変わると、何がかわるのでしょうか?改正法の施行によって変わった点、変わらない点がありますので、ご参考までに記しておきます。

**変わった点:**親の同意なく契約ができる年齢(クレジットカードを作る、ローンでの車の購入、家の賃貸契約など)、帰化申請、トランスジェンダーの氏名変更・性別移行を行える年齢、国家資格(会計士、行政書士などの資格)の取得が可能となる年齢が今までの20歳ではなく18歳になりました。

また、女性の結婚最低年齢が16歳から18歳に変更され、親の許可なく結婚できる最低年齢が男女共に18歳になりました。

**変わらない点:**飲酒、喫煙、競馬などの賭け事(これらは、健康面や少年非行の保護・防止といった青少年保護の観点から変更されません)、養子縁組、大型・中型自動車運転免許の取得は、これまで同様20歳まで不可。

▼日本政府広報オンラインページ

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201808/2.html>

▼日本法務省ブックレット

<https://www.moj.go.jp/content/001300586.pdf>

## 第62回海外日系人大会

10月22～23日にオンラインで開催  
「日系社会の持続的な発展と日本」テーマに

2022年秋に東京での開催を目指して関係各所と調整を行ってきた第62回海外日系人大会について、この度、6月の理事会において、対面・集会型の開催を断念し、オンラインをメインに開催することが決定した。

徐々に対面イベントや会食、旅行なども再開されはじめた状況にある現在、第62回海外日系人大会についても、従来のように海外からの参加者を一堂に集め、プログラムの一部をハイブリッド開催とする形を模索してきた。しかし、6月の理事会開催時点において、海外からの旅行者に対する日本の水際対策が完全に撤廃されていない状況であること等から、秋に海外からの参加者がどの程度見込めるのかの見通しが立たないこと、飲食を伴う交流会の実施についても不透明かつ不安要素が大きいこと等の事情により、このような決断となった。

「日系社会の持続的な発展と日本」を総合テーマに、前回大会同様、開会式とシンポジウムを柱に開催予定で、今後詳細が決まり次第改めて案内を行う。

### JICA日系社会研修

「日本文化コーディネーター」コース、  
3年ぶりの来日研修

当協会では、JICA日系社会研修事業の集団・個別各種コースを提案・実施しているが、この度、8月より3年ぶりの来日研修が実現することとなった。来日するのは、「日本文化コーディネーター」コース(集団)で、アルゼンチン、ブラジル、ボリビア、パラグアイ、ベネズエラの日系団体や日本語学校などでそれぞれ活動している6名。

研修では、日本の伝統文化に関する講義のほか、日本文化活動に関する企画の実施方法、日本文化活動を通じた日系社会および地域社会の活性化について学ぶ。コロナの状況にもよるが、古都鎌倉や浅草などを訪問し、日本文化体験なども予定している。

外務省外交史料館・JICA横浜  
海外移住資料館共催企画展示  
7月2日～8月28日開催

「外交史のなかの海外移住～それぞれのはじまり」

開館から20年を迎えた今年、JICA横浜海外移住資料館では、常設展示の一部について、リニューアル改修工事を行った。工事のための臨時休館を経て、現

# 日系社会 Topics

在、リニューアル後第1弾となる企画展示「外交史のなかの海外移住～それぞれのはじまり」を開催している。

外務省外交史料館との共催により、日本人の移住先国との外交関係の樹立を示す貴重な条約書の原本や、移住のはじまりを語る外交史料館の貴重な所蔵史料のほか、海外移住資料館所蔵による戦後移住のはじまりと移住者の募集・送り出しに関わる資料が展示されている。戦前・戦後それぞれについて、移住の「はじまり」をたどる展示となっている。



## 本の紹介

「サンバの町それから  
外国人と共に生きる群馬・大泉」

町民の6人に1人が外国人だという、群馬県の大泉町。地元紙上毛新聞社が1997年に刊行した『サンバの町から一外国人と共に生きる 群馬・大泉』の続編として出版された本書は、前作を刊行した97年当時から四半世紀を経て、アジア系移民の増加によりさらに外国人の町となった現在の大泉町の様子やその変遷をレポート。移民社会の教育、貧困、高齢化など、多様化する課題と移民労働者との共存・共生社会について、地域と行政の取り組みをつぶさに追っている。

発行:上毛新聞社  
A5判・238P・日本語  
価格:1,400円(税別)  
発行日:2022年3月12日  
ISBN: 978-4-86352-306-7



## なにができるんだろう？

夢と希望にあふれた  
社会づくりを実現させるために、  
わたしたち大成建設は  
これからも人がいきいきとする環境を創造します。

地図に残る仕事。  
**大成建設**  
DAIICHI  
For a Lively World

